

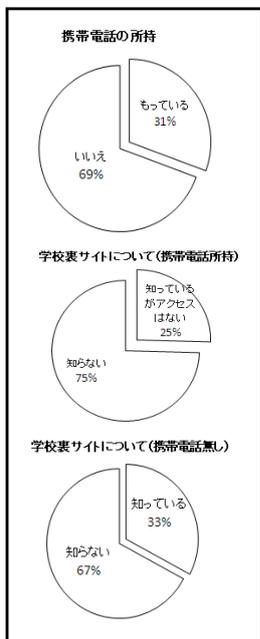
第5学年 情報モラル学習指導案

指導者 ○○ ○○

1. 単元名「電子けいじ板を使ってみよう」（総合的な学習の時間）

2. 指導観

- 本学年の児童は、事前の携帯電話の使用に関する実態調査（平成21年7月実施 58名）では



自分の携帯電話を持っている児童は全体の約30%に上る。そのうちの約25%の児童がネットいじめの温床とされている電子掲示板のいわゆる「学校裏サイト」に関して、その存在を「知っている」と回答し、携帯電話を持っていない児童まで含めると、それは全体の55%に上っている。（左グラフを参照）この結果から、携帯電話が児童の間にある程度普及しており、今後もその割合は高くなっていくこと、そして半数以上の児童がそれにまつわる問題の存在を認識していると言える。ただし、「学校裏サイト」によっていやな思いをした人が身近に存在するかということについては、全員が「知らない」または「聞いたことがない」と回答し、本学年の児童の間に、現時点においては学校裏サイトに関する問題は起こっていないと推察できる。

児童にとって、携帯電話はこれから先、他者と情報のやりとりを行う上で中心となるツールであり、その取り扱いには一定の節度やマナーが求められる。また、学校裏サイトで行われている不適切な情報交換ではなく、自らの意志で適切に情報を発信し、よりよいコミュニケーションを実践していく力が必要となる。したがって、この時期に情報発信についての正しい知識や望ましい表し方を身に付ける学習を行うことは、情報モラルを育てていく上で重要であり、かつ必要不可欠であると考えられる。

- 本単元は、情報モラル指導カリキュラムにそって設定した情報モラル学習単元である。ここでは、パソコンや携帯電話から電子掲示板を利用して情報のやりとりができることを知るとともに、情報を書き込む場合は、その表現に気を付ける必要があること、特に、個人が特定されるような情報の発信及び他人への誹謗中傷を慎むことができるようにすることを主なねらいとしている。

また、不適切な情報の発信がいじめの温床になっているなど社会的な問題になってきていることについて自分なりにその原因や解決策を考えるなどの活動を通して、情報及び情報社会に対する見方や考え方を養うことも重要なねらいである。

これらのことは、児童が自らが日頃から情報モラルを身につけ、望ましい態度で情報社会を生きていくことにつながっていくものであり大変意義深いと考えられる。

- 本単元の指導にあたっては、イントラネットを活用した情報発信の体験活動の場を仕組んだり、討論形式による話し合い活動を取り入れたりしながら、情報モラル指導カリキュラムで設定した育成のねらいを達成できるようにしたい。

そのために、まず、社会科での学習をもとに、電子掲示板において不適切な情報のやりとりが行われていることに目を向けさせ、電子掲示板の利用に関する情報モラルを身に付ける必要があることを意識させる。

次に、パソコンルームのイントラネット上で電子掲示板を立ち上げ、そこに自分で記事（意見）を書き込む電子掲示板の疑似体験の場を設定する。実名と匿名の2つの場合で書き込ませながら、それぞれの場合での書き込みの内容やその表現の違いについて交流し、電子掲示板の利用にあた

っての心構えやマナーがあること、そして、それを自ら守る必要性について気付かせていく。

その後、電子掲示板に書きこんだ体験とつなげて、電子掲示板への心ない書き込みがいじめや犯罪にかかわっていることについて自分なりに考えたりすることで、児童のインターネットや情報社会に対する見方や考え方を養うとともに、情報社会をよりよく生きていこうとする意欲を高めていきたい。

3. 単元の目標

- ・パソコンや携帯電話から電子掲示板を利用して情報のやりとりができることを知り、情報を書き込む場合は、その表現に気を付ける必要があることや必要な心構えやマナーが分かる。
(正しい知識)
- ・電子掲示板に情報を書き込む場合は、自他の個人情報をはじめ個人が特定されるような情報の発信や他人への誹謗中傷を慎むことができる。
(表し方)
- ・不適切な情報の発信が社会的な問題になってきていることについて、自分なりの意見をもつことができる。
(見方・考え方)

4. 単元の計画 (全 4 時間)

配時	主 な 学 習 活 動 と 内 容	評 価 規 準	教科等
1	<p>○社会科の学習をもとに、電子掲示板において不適切な情報のやりとりが行われていることについて話し合い、電子掲示板の利用に関する情報モラルの必要性を確認する。</p> <p>情報の収集や発信における意図的に行われる不適切な行動や情報社会がかかえる問題点等について問題意識をもたせる過程</p> <p>○電子掲示板について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電子掲示板によってできることについて ・電子掲示板機能を付加したアプリケーションソフト(共同学習支援ソフト)の紹介 	<p>・携帯電話の使用に関して情報モラルが必要であることを意識している。</p>	総合的な学習の時間
2	<p>○共同学習支援ソフトの電子掲示板機能を活用し、電子掲示板に自分の意見を書き込む疑似体験活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書き込みの方法と約束について。 ・実名と匿名による書き込み(グループ別) ・体験活動によって分かったことについて <p>求められる情報モラルの妥当性や必要性を納得し、それを自分自身の問題としてとらえるさせる過程</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学んだことの生活の中における生かし方について <p>獲得した情報モラルを日常生活で発揮していこうとする意欲とその具体的な見通しをもたせる過程</p>	<p>・電子掲示板の使い方を知り、表現に気を付けて自分の意見を書き込んでいる。</p> <p>・電子掲示板の利用における心構えやマナーを理解している。</p>	
1	<p>○電子掲示板の利用といじめとの関係を自分なりに考える。</p>	<p>・不適切な情報の発信が社会的な問題になっていることに対し自分なりの意見をもっている。</p>	

5. 本時の目標

- 電子掲示板の使い方を知り、書き込む内容や表現を自分なりに気を付けて、電子掲示板に情報を発信することができるとともに、電子掲示板の利用にあたっての心構えやマナーが分かる。
- 日常生活において、情報機器とのかかわりをよりよいものにしていこうとする気持ちをもつことができる。

6. 本時指導の考え方

本時指導にあたっては、イントラネット上で電子掲示板に自分で記事（意見）を書き込む体験活動を通して、書き込む内容や表現を自分なりに気をつけるなど、電子掲示板の利用にあたっては必要な心構えやマナーがあることを理解させていきたい。

そのために、まず、共同学習支援ソフトを活用し、パソコンルームのイントラネットに電子掲示板を立ち上げる。電子掲示板への書き込みについては、実態調査からほとんどの児童に経験がないため、活動に入る前に他の情報通信ツールとの違いを交えながら、仕組みの概要を説明する。

次に、共同学習支援ソフトの使用方法について説明する。ソフトの概要については前時に紹介しているので、本時では電子掲示板機能の使い方をログインから、文字入力、記事（意見）のアップロードまで、教師側でスクリーンに映し出し、手順を確認しながらわかりやすく説明していく。

そして、教師で事前に立ち上げておいた話題に記事（意見）を書き込む体験を最初に実名で書き込み、その後別の話題に匿名で書き込ませる2つの場合で行っていく。パソコンの台数の関係でグループに分かれ交代で記事（意見）を書き込んでいくが、文字入力には個人差があるので、活動の時間には十分配慮するとともに、ソフトの操作については適宜支援を行う。

その後、書き込みの体験後に実名と匿名による書き込み内容や表現の違いについて話し合う。その話し合いをもとに、電子掲示板への書き込みの際には、他人への誹謗中傷となる内容や表現に気を付ける必要があることを中心に、電子掲示板を利用する際の心構えやマナーについてまとめる。

最後に、学んだことをどのように生活に生かしていくかを交流し、獲得した情報モラルを日常生活で発揮していこうとする意欲とその具体的な見通しをもたせていきたい。

7. 準備

教師：学習プリント

児童：これまでの学習プリント，筆記用具

8. 学習の展開（2／4，3／4）

学 習 活 動 と 内 容	指導上の留意点(・)や主な支援(○)評価(※)
<p>1. 「電子掲示板」がどういうものかを知り、本時のめあてをつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">めあて</p> <p style="text-align: center;">電子けいじ板を使うときの心構えやマナーについて考えよう。</p> </div> <p>2. 電子掲示板の使い方を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ログインの方法について ・文章入力について ・登録と表示について <p>3. 実名でログインして電子掲示板に自分の記事</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ほとんどの児童が電子掲示板に自分の意見を書き込んだ経験はないため、電子掲示板がどういうものかを、他のツール(電子メール等)との違いも交えながら説明する。 ・本学年の児童は、使用するソフトを初めて操作するため、スクリーンに映し出しながら教師の操作を交えて説明する。 ・掲示板の話題は、教師であらかじめ立ち上げておく。 <p>○コンピュータは2人1組で使用しているので、2つのグループに分けて、書き込ませ</p>

(意見)を書き込む。

4. 書き込みの感想を出し合う。

るようにする。(グループについては予め分けておく。)

・文字入力に時間がかかる子もいるので、活動時間は十分配慮する。

※自他の個人情報をはじめ個人が特定されるような情報の発信及び他人への誹謗中傷を慎むことができる。(観察)

○感想は自由に出させるが、「おもしろかった」「楽しかった」等に終始せず、教師から問い直すなど具体的に発表させるようにする。また、書き込まれた記事(意見)の表現をふり返らせるなど、適切な情報発信について確認したい。

ここまで第2時/全4時間(以下第3時/全4時間)

5. 匿名でログインして書き込みをする。

6. 実名での書き込みと比較しながら、感想を出し合う。

・この場面では、実名での書き込みとは別の話題を提示し書き込ませる。

・実名での書き込みとどう違うのかを交えて感想を発表させる。

○不適切な表現があった場合、全体の場で取り上げ、それは学校裏サイト問題と同じ行為であることを指摘し、たとえ匿名であっても、書き込む内容や表現に十分気をつけることの大切さに気づかせたい。

※電子掲示板に、情報を書き込む場合は、その表現に気を付ける必要があることが分かる。(発言チェック、ノート分析)

7. 体験を通して分かったことをまとめるとともに、今後の電子掲示板とのかかわり方について見通しをもつ。

・児童の体験活動の振り返りをもとに、電子掲示板の利用にあたっての心構えやマナーについてまとめていく。

- ・電子掲示板に記事(意見)書き込むときは、言葉の使い方に気をつける。
- ・人を困らせたり、イヤな気持ちにさせたりする記事(意見)は書き込まない。
- ・自分や家族、友達の個人情報は書き込まない。
- ・書き込まれる内容を一方的に信用しない。
など

※電子掲示板を利用する際に必要な心構えやマナーについて理解している。

(発言チェック、ノート分析)

○各自の感想を交流し、日常生活における情報モラルの実践に向け電子掲示板との望ましいかかわり方について自分なりの見通しをもたせるようにする。

※電子掲示板との望ましいかかわり方について見通しがもっている。(発言チェック)

8. 本時学習を振り返り、自己評価をする。

○自己評価は記述と項目選択の2つをさせる。記述については単なる学習の感想に終わらないように、情報モラルの正しい知識の獲得の視点で書くことを指導する。